

事務事業名	公共下水道汚水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	整備維持グループ	課長名	須田 弘
	施策名	(11)下水道の整備	担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471
	目的 対 象	市民	意 図	衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。	(内線)	4610
	基本事業名	(030)下水道整備の推進	予算科目	会計 2 5 2 5 0 1 1 款 大 事 業 大 事 業 名 目 中 事 業 中 事 業 名 1 0 1 0 0 1 業 業	公共下水道汚水施設整備事 業 公共下水道汚水施設整備事 業	
目的 対 象	下水道未整備地区の人	意 図	下水道に接続できるようにする。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 16 年度 ~ 30 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
処理区域面積	541ha
計画人口	7,600人
管路延長	98km
終末処理場数	1箇所
計画処理能力	6,800m <sup>3</sup> /日 (1,700 × 4池)

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) 管渠工 L=411m 中継ポンプ 1基 認可設計業務 1式 詳細設計業務 1式	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 管渠設置工事 L=300m 詳細設計業務 1式				
② 活動指標		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
ア	管渠工	m	1,802	316	411	300
イ	処理施設	箇所	0	0	0	1
ウ	中継ポンプ	箇所	1	0	1	0
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)
	木次町・三刀屋町公共下水道区域内の住民、営業所等		ア	処理(整備)人口	人	9,382	9,340	9,147	9,147
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (計画)	
対象施設すべての宅内排水を下水道へ接続し、汚水処理を行えるようにする。		ア	接続人口	人	7,874	7,895	7,658	7,678	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
需用費	145千円	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	30,000	5,500	11,000	3,000
役務費	130千円		県支出金	千円				
委託料	5,807千円		地方債	千円	24,800		9,500	35,100
使用料及び賃借料	231千円		その他	千円	8,009	6,469	5,836	5,000
工事請負費	22,999千円		一般財源	千円			2,983	
公課費	7千円	事業費計(A)		千円	62,809	11,969	29,319	43,100
計	29,319千円	人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
			延べ業務時間	時間	620	390	480	
			人件費計(B)	千円	2,411	1,537	1,881	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	65,220	13,506	31,200	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併前の木次三刀屋下水道事務組合が採択を受けた。H17年度より一部国庫補助事業から汚水処理施設整備交付金事業へ、H22年度からは社会資本整備総合交付金へ転換した。	特になし	特になし

事務事業名	公共下水道汚水施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	事業採択時の事業計画に基づき計画区域を設定し、汚水処理施設規模を設定しており成果の向上余地はない																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	事業認可をとり実施しているので、廃止や休止はできない。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	近傍に類似事業が無いため、統廃合・連携はできない。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																				
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金交付要綱の設計・積算基準に基づき、適正な設計・積算を行っており、削減する余地はない。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているため人件費の削減余地はない。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市の負担金徴収条例に基づき、受益者へ応分の負担を求めており、受益者負担は公平・公正になっている。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
計画的かつ効率的な施設の改築・補修を実施するために、長寿命化対策の策定を行わなければならない。			廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		

3 今後の方向性【PLAN】